

平成 13 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 ミネベア株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山本 次男
(コード番号 6479 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役経理部長 大木 貞彦
(電話番号 03-5434-8611)

平成 14 年 3 月期 中間期及び通期業績予想の修正及び子会社の 清算に関するお知らせ

業績予想の修正

最近の業績の動向等を踏まえ、本年 5 月 17 日の決算発表時に公表した平成 14 年 3 月期
(平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので
お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 中間期 (平成 13 年 4 月 1 日～平成 13 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	140,000	14,500	10,500	6,000
今回修正予想(B)	136,000	12,500	8,800	4,400
増減額(B-A)	4,000	2,000	1,700	1,600
増減率(%)	2.9	13.8	16.2	26.7
(ご参考) 前期実績(平成 12 年 9 月中間期)	142,124	17,177	12,987	7,084

(2) 通期 (平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	300,000	33,000	25,000	15,000
今回修正予想(B)	260,000	21,700	15,000	5,500
増減額(B-A)	40,000	11,300	10,000	9,500
増減率(%)	13.3	34.2	40.0	63.3
(ご参考) 前期実績(平成 13 年 3 月期)	287,045	32,977	24,726	14,826

2. 単独業績予想数値の修正

(1) 中間期（平成 13 年 4 月 1 日～平成 13 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	95,000	2,600	3,700	2,200
今回修正予想(B)	89,000	1,200	3,300	1,600
増減額(B - A)	6,000	1,400	400	600
増減率(%)	6.3	53.8	10.8	27.3
(ご参考) 前期実績(平成 12 年 9 月中間期)	99,467	7,016	6,022	2,991

(2) 通期（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	200,000	6,800	9,300	5,500
今回修正予想(B)	170,000	1,600	9,000	4,500
増減額(B - A)	30,000	5,200	300	1,000
増減率(%)	15.0	76.5	3.2	18.2
(ご参考) 前期実績(平成 13 年 3 月期)	197,675	12,246	12,127	3,947

3. 修正の理由

米国景気の急激な減速の影響により、日本、アジア及び欧州等の景気も悪化し、世界同時不況の様相を呈しています。しかもこの様な状況の中で、米国で、衝撃的な同時多発テロが起こり、米国はもとより世界のその他の国に与えた心理的、経済的な悪影響により、一段の景気後退と景気低迷の長期化が懸念されます。当社の主力市場である情報通信関連の需要も低迷が続き、その回復時期も予測が困難な状況にあり、予想以上に長期化するものと思われます。以上の状況から、現状では下半期の需要回復は期待出来ないと思われま

す。また、銀行株式の大幅な値下がりに伴い、当上半期に投資有価証券について 713 百万円の減損処理による特別損失を計上しております。以上の理由により、業績予想の修正をいたします。

子会社の清算

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり子会社である MINEBEA CP INC. を清算することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 清算に至った経緯

MINEBEA CP INC. は、1986年 マーシャル・パワース(CP)の発行による米国での資金調達を目的に、米国 カロリニア州に設立されました。しかし、米国での資金調達が安定化し、CP による調達の必要性がなくなったことから、清算する事を決定いたしました。

2. MINEBEA CP INC. の概要

所在地 : 米国 カロリニア州
代表者 : 山中 雅義
資本の額 : US\$ 10,000
主な株主構成 : ミネベア(株) 100%子会社
清算時期 : 平成 14 年 3 月

3. 今後の見通し

清算による業績への影響は、単独決算及び連結決算ベースで、それぞれ若干の利益となる見込みで、当期の業績予想に折り込み済みであります。

以 上